

新年のご挨拶

一般社団法人
全日本木材市場連盟
会長 守屋 長光



発行所

一般社団法人
全日本木材市場連盟
編集 東京・京都文庫区後楽1-7-12
発行人 林友ビル6階
〒112-0004 03(3818)2906
電話 03(3818)2907
FAX 毎月1回1日発行
定価・年3,000円
(会員は会費に含まれています。)

国的に記録的な猛暑となり、温暖化対策の緊急性、2050年ネットゼロ実現の重要性を改めて認識いたしました。

経済面では円安や諸物価の高騰が長引き生活に影響を及ぼしています。世界に目を向けると、米国の貿易政策の急変や中国経済の減速、欧州や中東の不安定な政治情勢等、先行きが見通しにくい状況となっています。

我が国的新設住宅着工戸数は、建築基準法改正の影響等により、3月に一時的に増加しましたが、その後は低迷が続き、厳しい状況が続いています。本年は、所得の改善、物価高騰の収束により住宅需要が回復することを期待しています。

一方、近年、公共建築物やオフィスビル等に木材を見せる建築が採用されるようになってきました。今後は着工戸数の多い店舗や低層の集合住宅等に一般流通

皆様方の益々のご健勝とご多幸をご祈念申し上げるとともに、変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

模な林野火災や8月上旬の九州地方における大雨など、大災害が全国で発生しました。亡くなられた方々の御冥福をお祈りするとともに、被災された方々にお見舞いを申し上げます。また、被災地で復旧・復興に御尽力されている関係者の皆様方の御努力に敬意を表します。



令和8年 年頭所感

林野庁長官 小坂 善太郎

新春を迎え、謹んで新年の御挨拶を申上げます。

昨年は、2月下旬から3月にかけて岩手県大船渡市を始め各地で発生した大規

先人の努力により戦後造成されてきた人工林の約6割が50年生を超え、利用可能な資源となつております。これを「伐つて、

外からの旅行者に我が国の木の文化に触れていただきたいことも大きな意義があると考えています。また、昨年の夏は、全

新年あけましておめでとうございます。平素より当連盟の運営につきまして、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は、大阪・関西万博が開催され、大屋根リングをはじめ多くの国のパビリオンにおいて内装や外装に木材が使用されたことが大きな関心を集めました。SDGsへの関心の高まりから、木材を使用することが世界的にも当たり前の時代になってきたと感じています。海外情勢に影響を受けています。また、供給面では、不安定な

給体制を構築することが求められています。このような期待に応えるため、木材市場はサプライチェーンの強化に努め、木材

給体制を構築することが求められています。このような期待に応えるため、木材

使って、植えて、育てる」森林資源の循環利用を確立し、次世代に引き継いでいくことが重要です。近年、地球温暖化や生物多様性といった地球規模の環境問題が注目される中、これらの課題は森林が大きく関わっており、多くの企業が森林の循環利用に関心を持ち協力したいと考えてくれています。このような流れも追い風にしたいと考えております。

林野庁では、人工林資源の循環利用に向けて、路網の整備や再造林の省力化・低コスト化、スマート林業の推進、原木・木材製品等の生産体制の強化、JAS構造材やCLTの活用による木材の需要拡大、多様な担い手の育成・確保など、総合的な取組を進めてまいります。引き続き花粉症対策についても、スギ人工林伐採重点区域におけるスギ人工林の伐採・植替えなどの取組を進めます。

森林の循環利用に欠かせない国産材の需要拡大に向けては、人口減少社会を迎える中、木材需要の多くを占めてきた住宅分野での木材の利用促進に加え、非住宅・中高層建築物の木造化・木質化を進めることが重要です。昨年の大阪・関西万博では「大屋根リング」や各國パビリオンに多くの木材が利用され、木材利用の機運が高まりました。さらに令和8年度からは、環境省と連携し、温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度(SHK制度)において、事業者が自らの排出量の算定に、木材利用等による炭素蓄積変化量を用いることができる仕組みの導入を予定しています。また、国土交通省に

おいては、建築物のライフサイクルカーボンの削減に向け、令和10年度を目途に建築物のLCCO₂評価の実施を促す制度の開始を目指して検討を進めており、

林野庁も木材の省CO₂効果が評価されるべく検討に参画しています。こうした中で、林野庁では、これらの仕組みを活用して、特に企業の社屋や店舗など非住宅分野での木材利用を進めるべく、昨年10月から、自治体や企業による木材利用の促進とその効果の「見える化」を進め、「森の国・木の街」づくり宣言に参画する方の募集を行っています。

本年は森林・林業基本計画の変更年です。現行基本計画に基づく施策の実績や森林・林業・木材産業の現状を踏まえ、本年6月頃を目途に新たな基本計画を策定すべく、確実な再造林や生物多様性・林地保全に配慮した森林整備、木材の価値を最大化する流通・加工、都市等における木材利用の拡大、林業・木材産業の持続可能性やコスト構造に関する情報の伝達・共有などを主な論点として検討を進めています。森林・林業・木材産業には様々な課題がありますが、課題の先には大きいに可能性があると考えています。

森林・林業・木材産業の未来に希望をはなめています。森林・林業・木材産業は現場からの意見も踏まえながら検討を進めます。

林野庁としては、これらの取組を通じて森林・林業・木材産業を持続的に発展させていくとともに、我が国に暮らす全ての皆様が森林の有する多面的機能の恩

恵を末永く享受できるよう、日々邁進していく所存です。本年も、関係者の皆様、そして国民の皆様の御協力をお願ひいたします。

結びに、本年が、皆様一人一人にとつて実り多き素晴らしい一年になりますよう、心よりお祈り申し上げます。

年頭のご挨拶
一般社団法人 全国木材組合連合会
会長 菅野 康則



惠を末永く享受できるよう、日々邁進し、製材においても横架材など大きな規格の製品でも品質を確保し、安定供給できる体制が整ってきます。また、「都市(まち)の木造化推進法」のもと、都市部においても木造による中高層ビル、商用・事業用施設等の建設が全国各地で着実に進んでいます。

このような木材需給の活性化の機運を迎える中で、「2050年カーボンニュートラル」の実現、持続可能な森林資源の循環利用、地域経済への貢献など、社会・経済からの様々な期待に応えるため、「伐って、使つて、植えて、育てる」のスローガンの下、林業・木材産業が新しい時代にふさわしい一年を迎えられるよう祈念しています。

このためには、国産材製品の品質や生産技術の向上、需要に即応したサプライチェーンの構築、木材の利用拡大などに取り組んでいきたいと考えています。また、昨年は改正「クリーンウッド法」が施行されたことから、合法性が確認された木材のみを流通させる義務を負うことを、我々、木材事業者はしっかりと認識していかなければなりません。

全木連といたしまして、木材を優先する社会(ウッドファースト社会)の実現を目指し、一層努力して参りますので、皆様方の更なるご支援、ご協力をお願い申し上げます。

本年が皆様方にとりまして素晴らしい一年となりますことをご祈念申し上げます。

反面、我が國の人工林資源は成熟期を迎え、合板、集成材、CLT等はもとよ

令和8年 年頭所感

林野庁木材産業課

課長福田淳



令和8年の年頭に当たり、謹んで新年の御挨拶を申し上げます。
（二社）全日本木材市場連盟並びに会員各位におかれましては、日頃より、木材市場の運営により、国産材の安定供給において添えを賜つておりますことに、厚く御礼申し上げます。

このよな中、林野庁は、昨年10月から、全国で街の木造化を進める「森の国・木の街」の実現に向けて、「『森の国・木の街』づくり宣言」に参画する企業・自治体の募集を開始しました。

この宣言は、建築物の木造化や、木材利用の効果の「見える化」を通じて、森林資源の循環利用を進め、地球温暖化の防止や地域の活性化を目指すことを宣言していくいただくものです。多くの皆様から機運を一層高めていきたいと考えております。

また、我が国では、「成長型経済への転換」の実現に向けて、政府全体で価格転嫁・取引適正化を推進しており、本年1月1日から、サプライチェーン全体で適切な価格転嫁を定着させる「構造的な価格転嫁」の実現に向けて、「取適法（改

さて、我が国の森林資源は、本格的な利用期を迎えており、「2050年カーボンニュートラル」の実現に向けて、「伐って、使つて、植えて、育てる」森林資源の循環利用のサイクルを確立する

特に、近年では、経済界を中心に、SDGsへの貢献の観点から、木材利用への期待や関心が高まっています。建築物等への木材利用は、森林が吸収した二酸化炭素を長期間貯蔵するだけではなく、伐採後の再造林により、次世代の森林を育成すれば、吸収量の更なる増大にもつな

受注者それぞれの立場で本ガイドラインを活用することにより、価格転嫁や取引適正化に取り組んでいただけるよう、ご協力をお願ひ致します。

林野庁では、関係者の皆様が、木林産業を取り巻く環境の変化に十分対応できること、川上から川下まで幅広い施策を進めて参ります。会員の皆様におかれましては、引き続き、国産材の安定供給体制の構築にお力添えを賜りますよう、宜しくお願い致します。

最後に、本年が皆様にとって実り多き一年となりますことを祈念して、年頭の御挨拶とさせていただきます。

年頭のご挨拶

官画企正面業務専門課野林厅

大道一浩

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

全日本木材市場連盟の皆様には、日頃

本年、林野庁ではおおむね5年ごとに

需給率は42・5%で前年(43・0%)に比べ微減したものの、建築用材では国産材比率が5割を超えており、木材市場に対する影響力は高まっているのではないかと考えております。また、国内工場における国産原木の割合も8割を超えてきています(国内生産製品における国産材の割合、製材用材81%、合板用材94%、丸太ベーツ令和5年)。

需給率は42・5%で前年(43・0%)に比べ微減したものの、建築用材では国産材比率が5割を超えており、木材市場に対する影響力は高まっているのではな

いかと考へております。また、国内工場における国産原木の割合も8割を超えてきています（国内生産製品における国産

材の割合、製材用材81%、合板用材94%、
丸太べース令和5年)。



謹んで新春の

ご挨拶を申し上げます

令和八年 元旦

株式会社仙台木材市場

取締役会長 守屋長光

代表取締役社長 及川勝一郎

本社・市場

〒九八三一〇〇三六

仙台市宮城野区苦竹二丁目七番三〇号

TEL ○一一一一一一一〇一
FAX ○一一一一一一一一〇七

<https://www.sitiba.com>

市日 第一・第四水曜日

開市 午後一時三〇分

株式会社 山形城南木材市場

代表取締役社長 安部雄祐

定例市日 八・十八・二十八日

〒九九〇一三三〇七
山形市表藏王六〇一
電話 ○二三一六八八一一〇〇〇〇
FAX ○二三一六八八一一〇一一一

北海道木材市場協同組合

理事長 加賀谷雅治

〒〇〇二一八〇五二一

札幌市北区篠路町上篠路七一八
電話 ○二一七七五一七七五五

青森県森林整備事業協同組合

(原木市場)
理事長 成田剛

〒〇三〇一九五五

青森市大字駒込字桐ノ沢二二九一
電話 ○一七一七四三一五四一

秋田中央木材市場株式会社

代表取締役社長 工藤茂丸

本社 代表取締役社長 定例市日 一八日
高井陽介

〒〇一〇一〇九四一
秋田市川尻町字大川反二三三一七
電話 ○一八一八六三一一一〇一〇

福島県木材市場協同組合

理事長 鈴木賢二

〒九六〇八〇四三

福島市中町五一八
TEL ○二四五三三一三三〇七
FAX ○一四五一一一〇八

福島県郡山地区木工製材協同組合

株式会社平木材市場

有限会社福島原木センター
南東北木材株式会社

協同組合奥久慈木材流通センター

株式会社 吾野原木センターア

代表取締役社長 鴨下文明

定例市日 每月五日・一〇日

埼玉県飯能市大字平戸二一〇三
電話 ○四二一九七八一二二八六
第二工場 ○四二一九七八一二二八七
FAX ○四二一九七八一二二八七

株式会社 宇都宮総合木材市場

代表取締役 金子利雄

定例市日 七・十七・二十七日

〒三二一〇四一四
栃木県宇都宮市中里町七一八一四
電話 ○二八一六七四一七四八(代)
FAX ○二八一六七四一四三八六

千葉県木材市場協同組合

代表理事 大竹寛司

定例市日 毎週木曜日

〒二八三一〇八二三
千葉県東金市山田八〇〇

電話 ○四七五一五五一六一
FAX ○四七五一五五一六一七一

株式会社 吉貞

代表理事 大竹寛司

定例市日 每週木曜日

〒二八三一〇八二三
千葉県東金市山田八〇〇

電話 ○四七五一五五一六一
FAX ○四七五一五五一六一七一

戸田市場 埼玉県戸田市本町1-23-1 電話 048-443-4321 FAX 048-442-5181

熊谷市場 埼玉県熊谷市中奈良1412 電話 048-523-3621 FAX 048-523-3628

佐野市場 栃木県佐野市免鳥町295 電話 0283-23-6311 FAX 0283-23-6359

高崎市場 群馬県高崎市飯塙町1150 電話 027-361-2477 FAX 027-363-4473

【酒井インター富里市場（本社）】 千葉県富里市新橋六六五ノ一 TEL ○四七六一三七一五一五 【千葉木材センター】 千葉県四街道市吉岡四九六 TEL ○四三一四三二一七二一 【千葉第二木材センター】 千葉県成田市吉岡字東光台九六八 TEL ○四七六一七三一二二一 【葛西西中継センター】 東京都江戸川区東葛西一七一二 TEL ○三一五八七八一〇三五六 FAX ○三一五八七八一〇三五六
--

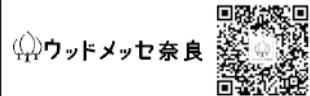
代表取締役社長 飯島義雄

東京中央木材市場株式会社

住む人の心にしみる木の香り 桜井木材協同組合

〒633-0062 奈良県桜井市粟殿350番地
TEL 0744-42-3535 FAX 0744-43-2552

ホームページアドレス
<http://www.sakurai-mokkyo.or.jp/>



桜井木材協同組合原木市売部
〒633-0048 奈良県桜井市生田 713-1
TEL 0744-46-9539
FAX 0744-46-9571

桜井木材協同組合山林部
〒633-0048 奈良県桜井市生田 713-1
TEL 0744-46-9539
FAX 0744-46-9571

桜井木材市場株式会社
〒633-0048 奈良県桜井市生田 713-1
TEL 0744-42-3235
FAX 0744-45-5971

木材振興センター
「あるぼ～る」



多目的にご利用いただける
イベントホール
レンタルスペース
〒633-0062
奈良県桜井市粟殿 355
TEL 0744-45-3955
FAX 0744-45-4741

本社	〒四五六一〇〇三三 名古屋市熱田区花表町二一一 電話 ○五一一八八一一五五一 FAX ○五一一三〇八一 http://www.kirakuninet.com E-mail info@kirakuninet.com
西部市場	大口市場 市日 毎週火曜日 電話 ○五六七一五五一 FAX ○五六七一五五一 五三八
中部市場	大口市場 市日 每週金曜日 電話 ○四五〇一四四四 愛知県海部郡飛島村木場一一一七
南部市場	大口市場 市日 每週火曜日 電話 ○四五〇一二二一 愛知県丹羽郡大口町河北一一二

本社	〒七六〇一〇〇五五 高松市観光通り一一一〇一十五 電話 ○八七一八三三一二三一 FAX ○八七一八三一一三〇四〇
本社	〒七八一一〇一一二 高知市仁井田新築四五〇三番地一 電話 ○八八一八四七一一七五二 FAX ○八八一八四七一六七三三
本社	〒八三八一〇八一三 福岡県朝倉郡筑前町依井三六一一 電話 ○九四六一二四一六一一一
本社	〒八三八一〇一九 福岡県朝倉市上秋月一四五番地 電話 ○九四六一二八一七八〇二 FAX ○九四六一二八一七八二五 https://www.asamoku.co.jp/ info@asamoku.co.jp

代表取締役会長 打越芳男
代表取締役社長 大谷知行

代表取締役 多田啓
代表取締役所 秋月木材センター
〒八三八一〇一九
福岡県朝倉市上秋月一四五番地
電話 ○九四六一二八一七八〇二
FAX ○九四六一二八一七八二五
<https://www.asamoku.co.jp/>
info@asamoku.co.jp

株式会社茨城木材相互市場

代表取締役会長 鈴木和雄
代表取締役社長 上地浩之

市売り日 二・十二・二十一日
代表取締役社長 橋口哲也
代表取締役会長 樋口高良
代表取締役社長 橋口哲也

株式会社大洋木材市場

<p>丸宇木材市売株式会社 代表取締役社長 木曾川 靖一 〒136-0071 東京都江東区亀戸 6-57-19 TEL 03-6904-8141 FAX 03-5628-3722</p> <p>市 北浜市場(毎週木曜日) 大栄浜市場(毎週水曜日)</p> <p>日 下館市場(毎週金曜日) 京葉市場(毎週木曜日)</p> <p></p>		<p>代表取締役 社長 中村 信洋</p> <p>定例市日 鶴ヶ島売場 毎週木曜日</p> <p>〒一七九一〇〇八一 東京都練馬区北町六丁目三一―三六 電話 ○三一三九三四一四二一八 FAX ○三一三九三四一四二二六</p> <p>〒一五六一〇〇五七 東京都世田谷区上北沢 五丁目三七一八 電話 ○三一三三〇四一五三二一 FAX ○三一三三〇四一四三二五</p>	
<p>全日本木材市場連盟 北陸支部 支部長 齊藤 豊美 【加盟木材市場】 株式会社富山合同木材市場 (TEL 076-452-1155)</p> <p>株式会社高岡木材市場 (TEL 0766-52-2131)</p> <p>富山県森林組合連合会 (TEL 076-434-1750)</p> <p>福井県嶺北木材林産協同組合 (TEL 0776-53-0221)</p> <p>福井県木材市売協同組合 (TEL 0776-41-3730)</p> <p>福井県森林組合連合会 (TEL 0776-50-0345)</p>		<p>関東木材センター協会 会長 桃溪 崇 (事務局) 横浜市鶴見区鶴見中央四一三三一一 ナイスビル五階 ナイス株式会社 資材事業本部営業企画部内</p> <p>電話 ○三四一三九五九一七八一 FAX ○三四一三九五八一三五九二</p> <p>〒一七一〇〇四四 東京都豊島区千早一一二〇一一三 電話 ○三四一三九五九一七八一 FAX ○三四一三九五八一三五九二</p>	
<p>木曽官材市売協同組合 代表理事 勝野 智明 原木 製品 国有林土場活用委託 秋原事務所 坂下事務所 電話 ○四六七一七三一〇〇七三 FAX ○四六七一七三一〇二三〇</p> <p>月月一回回 月二回回 月一回回</p>		<p>代表取締役 伊藤 元二</p> <p>〒二五三一〇二二 神奈川県高座郡寒川町一之宮 六一一一二 電話 ○四六七一七三一〇〇七三 FAX ○四六七一七三一〇二三〇</p>	
<p>神戸木材市売協同組合 代表理事 名田 健吾 マルタビア 美杉木材市場 神戸市長田区苅藻島町三一五二四 FAX ○七八一六八一三五四三(代)</p>		<p>西垣林業株式会社 代表取締役副社長 西垣 雅史 ■三重事業所 ■桜井市場 ■名古屋市場 奈良県桜井市大字成重二三七 愛知県名古屋市瑞穂区桃園町三一三 三重県伊賀市北山一五六〇 三重県津市美杉町八知五四二二</p>	
<p>「木の目、木の肌、木の香り」 活かして使おう国産材 国産材専門の産地市場 美作材優良桧・杉・松・その他 市 日 素材 每月本社8の日・新見支店3の日 製品 毎週木曜日</p>		<p>代表取締役 三吉 康善</p> <p>定例市日 月3回水曜日</p> <p>〒六九三一〇〇二三 出雲市上塩治町八九〇一 電話 ○八五三一二一一八五五 FAX ○八五三一二一三六〇二</p>	
<p>株式会社 津山綜合木材市場 代表取締役社長 武本 哲郎 本社 〒708-0011 素材部・製品部 新見支店 〒719-3811</p>		<p>代表取締役 社長 森 啓介</p> <p>定例市日 月一回 開催</p> <p>〒五二〇一〇二六四 三重県鈴鹿市徳居町四六一 TEL ○五九一三七二一八〇八 FAX ○五九一三七二一七六五</p>	
<p>株式会社 東京木材相互市場 代表取締役 社長 西村 信洋</p> <p>〒一七九一〇〇八一 東京都練馬区北町六丁目三一―三六 電話 ○三一三九三四一四二一八 FAX ○三一三九三四一四二二六</p>		<p>東京木材市場株式会社 取締役会長 市川 英治 代表取締役社長 氏橋 武史 (本社) 〒一三六一〇〇八二 東京都江東区新木場二一一一八 TEL ○三一三五二一七七一五 FAX ○三一三五二一七七一五(代表)</p>	
<p>新東京木材商業協同組合 理事長 近藤 藤嗣</p>		<p>株式会社 横浜連合木材 代表取締役 伊藤 元二</p> <p>〒二三〇八五七一 横浜市鶴見区鶴見中央四丁目三三番一 電話 ○四五五二一六一一二(代表) FAX ○四五五二一六一〇七</p>	
<p>鈴鹿木材株式会社 代表取締役社長 森 啓介</p>		<p>石谷林業株式会社 智頭原木市場 代表取締役社長 石谷 樹人 定例市日 月一回 開催</p> <p>〒六八九一四〇一 鳥取県八頭郡智頭町市瀬一四三八一 電話 ○八五八一七五一〇六三五</p>	

